# 1リーグから複数チームの国際トーナメントエントリー方法

公益財団法人　日本リトルリーグ野球協会

2022年12月7日　VOL3

# はじめに

2021年１月のリトルリーグ公認規定・トーナメント規則およびガイドラインの変更で、幣協会主催の国際トーナメント２大会（メジャー、インターミディエット全日本選手権＝連盟主催の予選を含む）における1リーグ複数チームのエントリーが可能になりました。

　同年２月の運営委員会、また日本協会公式ホームページで紹介はしていますが、あらたに複数チームのエントリーの方法について本文書でご説明します。

# エントリーにはDA承認が必要

複数チームのエントリーには必要な手続きがあります。そのなかでもっとも大事なのが地区責任者（以下DA）による承認です。規則（12ページ）にあるように「公平で偏りのない」チーム分けが行われていることをDAが確認し、承認した場合のみ複数チームの参加が可能になります。条件は以下

① チーム登録に関する書類（別掲）を連盟へ提出。連盟は照査後、日本協会へ提出。連盟（ブロック）予選（初戦）２週間前までに間に合うように提出

② １チームは１２選手以上（日本地区独自）

③ 公平で偏りのない配分であること（別掲）

# 提出に必要な書類

連盟（ブロック）予選、初戦の２週間前までに日本協会に届くように連盟に提出。連盟は照査した後、日本協会に提出しDAの審査と承認を受けます。

必要な書類は1チーム分それぞれ必要です。必要書類は以下。

〇複数チーム出場　申請・承認書（HPよりダウンロード）

〇選手登録書、チーム登録書＝連盟、リーグに協会より配布（HPよりダウンロード）

〇携行書類グループⅠ～Ⅲ　（保護者と選手の住民票、保護者の運転免許証、公共料金領収書など）　＝配布済の「登録案内」「登録から世界まで」を参照

〇リーグ登録時に提出したものに選手居住地をトレースしたバンダリー地図（1リーグから2チームの場合それぞれで必要です。バンダリー地図の枠線は同一で選手居住のみ違いあり）

# 提出が必要な書類①（申請・承認書）

国際トーナメント複数チーム参加申請・承認書

＿＿＿＿＿＿連盟＿＿＿＿＿＿＿＿リーグ

リーグＩＤ(D.C.ID)

【参加する国際トーナメント】　左備空白に○をつける

| | | |
|---|---|---|
| | 第56回 全日本選手権大会（メジャー部門） | MJ |
| | 第10回インターミディエット部門全日本選手権大会 | IM |

【チーム構成】各リトル年齢選手数、チーム合計人数を記入（「人」は不要）

| | チーム名 | 10歳 | 11歳 | 12歳 | 13歳 | 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | | | | | | |
| 2 | | | | | | |
| 3 | | | | | | |

【振り分けの根拠、基準】

【署名は直筆、日付は　月／日／西暦年】　／　／20

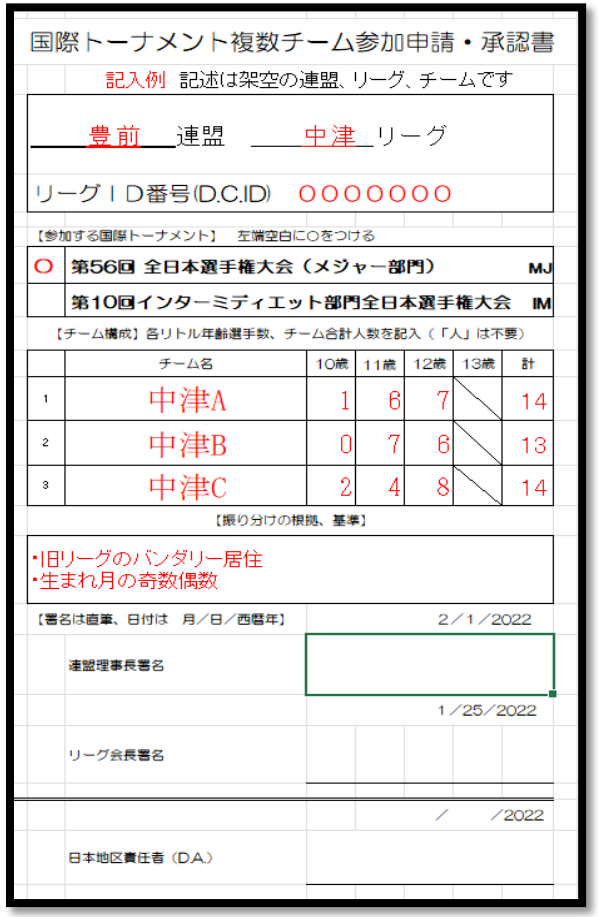
連盟理事長署名

／　／2022

リーグ会長署名

／　／2022

日本地区責任者（D.A.）



国際トーナメント複数チーム参加申請・承認書

記入例　記述は架空の連盟、リーグ、チームです

＿豊前＿連盟　＿中津＿リーグ

リーグＩＤ番号(D.C.ID)　ＯＯＯＯＯＯＯＯ

【参加する国際トーナメント】　左備空白に○をつける

| | | |
|---|---|---|
| ○ | 第56回 全日本選手権大会（メジャー部門） | MJ |
| | 第10回インターミディエット部門全日本選手権大会 | IM |

【チーム構成】各リトル年齢選手数、チーム合計人数を記入（「人」は不要）

| | チーム名 | 10歳 | 11歳 | 12歳 | 13歳 | 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 中津A | 1 | 6 | 7 | | 14 |
| 2 | 中津B | 0 | 7 | 6 | | 13 |
| 3 | 中津C | 2 | 4 | 8 | | 14 |

【振り分けの根拠、基準】

・旧リーグのバンダリー居住
・生まれ月の奇数偶数

【署名は直筆、日付は　月／日／西暦年】　2／1／2022

連盟理事長署名

1／25／2022

リーグ会長署名

／　／2022

日本地区責任者（D.A.）

参加申請・承認書に必要事項を記入の上、リーグ会長、連盟理事長の署名（いずれも必ず直筆）を得て日本協会に他の必要書類とともに提出する。

日本協会はDAの署名を加えて、リーグ、もしくは連盟に郵送で、他返却書類とともに返送。控えは日本協会で保管する

右は記入例。連盟、リーグ、チームなどは架空です。申請・承認書は日本協会公式HPよりダウンロード可能（予定）
※見本は2022年版です

# 提出が必要な書類②（携行書類は配布済資料参照）

Ⅰ選手登録書

文部科学大臣杯ＪＡ共済トーナメント
第 55 回全日本リトルリーグ野球選手権大会
選手登録書

2021 年　　月　　日

リーグ

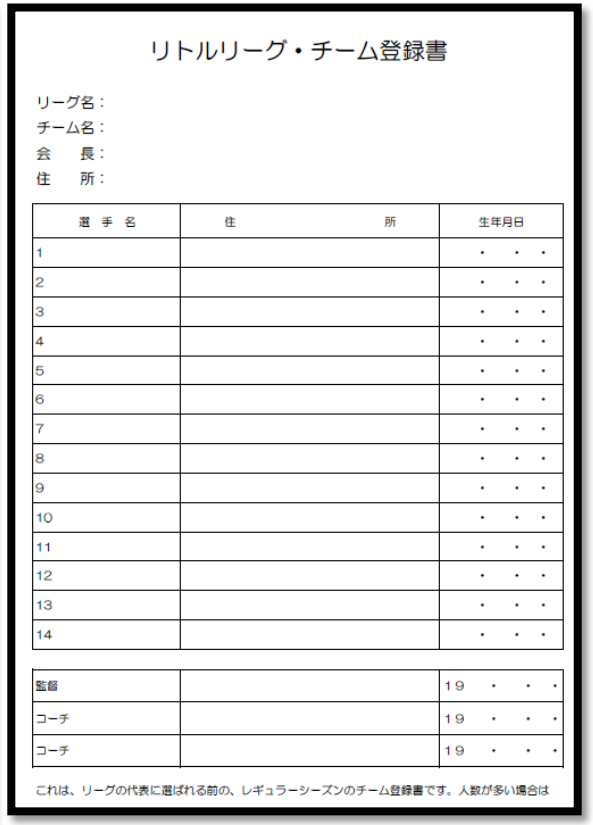
連盟照査印

| 背番号 | 守備位置 | ふりがな 氏　名 | 生年月日 <有資格年齢> 2008 年 9 月～2011 年 8 月 | ふりがな 学校名 | (学年) | 身長 (cm) | 体重 (kg) | 投・打 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | | | 年　月　日 | | 年 | | | 右・右 |
| 2 | | | 年　月　日 | | | | | ・ |
| 3 | | | 年　月　日 | | | | | ・ |
| 4 | | | 年　月　日 | | | | | ・ |
| 5 | | | 年　月　日 | | | | | ・ |
| 6 | | | 年　月　日 | | | | | ・ |
| 7 | | | 年　月　日 | | | | | ・ |
| 8 | | | 年　月　日 | | | | | ・ |
| 9 | | | 年　月　日 | | | | | ・ |
| 10 | | | 年　月　日 | | | | | ・ |
| 11 | | | 年　月　日 | | | | | ・ |
| 12 | | | 年　月　日 | | | | | ・ |
| 13 | | | 年　月　日 | | | | | ・ |
| 14 | | | 年　月　日 | | | | | ・ |

(注) 主将は番号を○で囲む。守備位置は具体的に（投手・一塁・左翼など）明記。投・打は右・左の区分を記入。

ふりがな 監督　　年齢　印　住所　〒　　連絡先 電話番号
ふりがな コーチ　　年齢　印　住所　〒　　連絡先 電話番号
ふりがな コーチ　　年齢　印　住所　〒　　連絡先 電話番号
ふりがな リーグ会長　　年齢　印　住所　〒　　連絡先 電話番号
ふりがな 連絡責任者　　年齢　印　住所　〒　　連絡先 電話番号

Ⅱチーム登録書



リトルリーグ・チーム登録書

リーグ名：
チーム名：
会　　長：
住　　所：

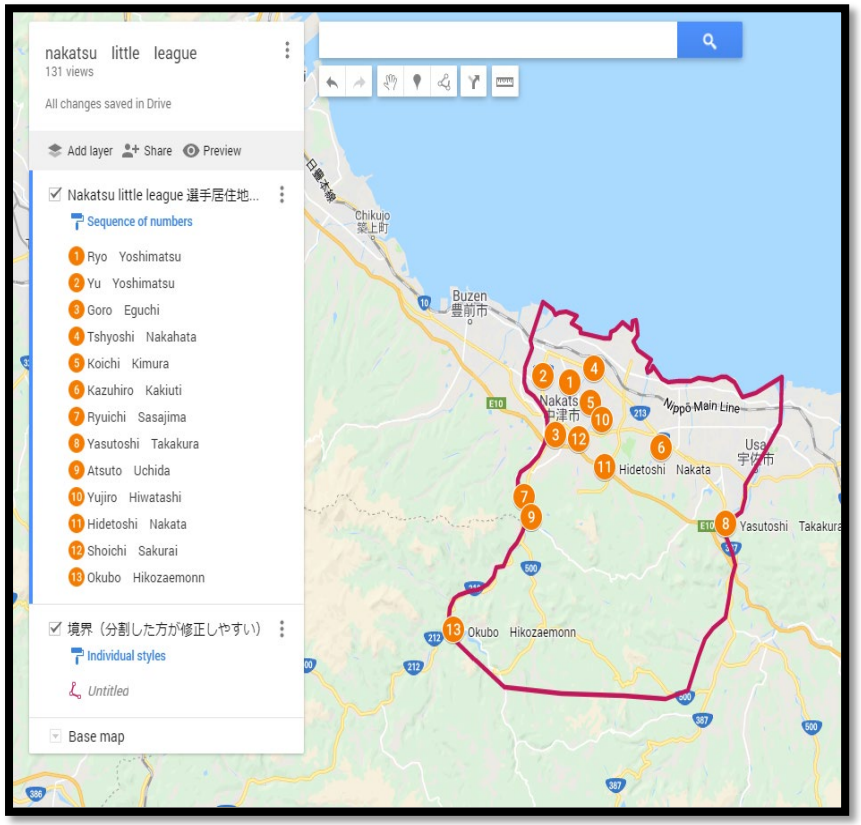
| 選　手　名 | 住　　所 | 生年月日 |
|---|---|---|
| 1 | | ・　・　・ |
| 2 | | ・　・　・ |
| 3 | | ・　・　・ |
| 4 | | ・　・　・ |
| 5 | | ・　・　・ |
| 6 | | ・　・　・ |
| 7 | | ・　・　・ |
| 8 | | ・　・　・ |
| 9 | | ・　・　・ |
| 10 | | ・　・　・ |
| 11 | | ・　・　・ |
| 12 | | ・　・　・ |
| 13 | | ・　・　・ |
| 14 | | ・　・　・ |

| | | |
|---|---|---|
| 監督 | | 19　・　・　・ |
| コーチ | | 19　・　・　・ |
| コーチ | | 19　・　・　・ |

これは、リーグの代表に選ばれる前の、レギュラーシーズンのチーム登録書です。人数が多い場合は

書類はそれぞれで必要です

Ⅲ選手居住トレースのバンダリー地図




Ⅰ、Ⅱは協会公式HPよりダウンロード可能。Ⅰはメジャー、インターミディエットで用紙が違います

# 注意するべき点

〇故障などやむ得ない事情を除いて初戦から全国大会、世界大会まで登録者の変更、交換は不可 （故障など、やむ得ない場合は申請が必須）

〇登録者が上記の理由などで離脱した場合、申請により補充は可能だが、補充した登録者を外すことはできない（復帰を見込むなら登録枠は空けておく）

〇チーム登録時に12選手未満のチームは承認しない（日本地区DA判断）

〇以上の件で、不正、事実と異なることが判明した場合、全国大会連盟代表枠の削除や日本地区DAが国際本部公認委員会へ当該リーグの公認取り消しを提案することがある

〇申請が遅れたリーグ、チームに関しては承認をしない

# その他必要となること

〇呼称　　リーグ名が「●●」の場合　「●●A」「●●B」「●●C」

「●●＋〇〇」

〇記録　　連盟公式記録は上記のように「●●　A」「●●＋〇〇」と表記

〇ユニホーム　　全国大会ではリーグのユニホームが必要（メジャーのみ）

全国大会パンフレット用にはリーグのユニホーム着用で撮影（同上）

〇離脱者が出た場合

早急に連盟、日本協会へ連絡する。故障の場合は診断書の

写しを送付。補充する場合も同様に申請

# 公平でバランスのとれたチーム編成

「バランスのとれたチーム編成」とは　以下の条件などがあります。

〇年齢の選手構成が偏っていないこと

〇チーム振り分けに関しての明確な基準があること

　例　旧リーグでのメンバーで構成

　例　アルファベット順、あいうえお順、誕生月で無作為に振り分け

※１軍、２軍のように明確な力量差に基づいた形での編成は「バランスを欠いた編成」として承認を得られないことがあります

# Ｑ＆Ａ①

Ｑ　携行書類は連盟代表となった場合、全国大会前に再び提出は必要ですか？

Ａ　不要ですが全国大会に携行ください。日本協会が予告なく点検することがあります

Ｑ　故障などにより１２人から１０人のメンバーとなりました。大会参加継続が可能？

Ａ　やむ得ない事情が発生した場合、連盟、日本協会へ連絡ください

Ｑ　同リーグで敗退したチームからの補充メンバーは認められますか？

Ａ　認められません。いったん他チームで登録した選手は補充メンバーになりません

# Ｑ＆Ａ②

Ｑ　1リーグ複数チームエントリーでは、なぜ１２人以上の制限がありますか？

Ａ　トーナメントチームは本来選抜されたオールスターで構成されます。日本では1チーム＝1リーグの形が大半のため、問題になっていませんでした。しかしながら、昨今、リーグ合併が増えています。「リーグ」が「チーム」となった後も、「旧リーグのチーム」には「リーグ」である意識が強く残り続けています。それに由来する現象が散見されました。リーグ合併が行われ、適格選手が多数いるにもかかわらず「旧リーグ」の選手だけで構成される少人数チーム（11人以下）が、トーナメントチームとなる例がありました。チームに対する愛着や、こだわりは理解できます。しかしながら、この規則（別掲12）は「より多くの選手が大会参加を楽しめるように」というリトルリーグの理念に基づいています。日本固有の実情を鑑み、「同一リーグからの複数チーム出場」に関してのみ、制限を設定しました。※1リーグ1チームの出場ならば従来通りです

# 関連規則

2022年ルールブック　131－132ページ　トーナメント規則とガイドライン「トーナメント編成」

「チーム」

各登録リーグはチームとして参加することができる。代理は許されない。

（以下注、2021年の改定により追記）

注：各リーグは、各チームが公平で一方に偏らずバランスが取れていると判断できれば、地区責任者の承認を得て、複数のトーナメントチームをエントリーできる。

# 書類の流れ

| 時期 | 予選前（初戦２週間前） | | 全国大会３週間前（前日含む） | | 全国大会 |
|---|---|---|---|---|---|
| 複数エントリーのリーグ | 書類を連盟に提出。連盟は精査したあと日本協会へ初戦2週間前までに到着するよう書類を提出<br>協会は精査後返却 | 書類は携行 | 書類の再提出は不要だが日本協会が予告なしに点検することがある（大会中含む） | 書類は携行 | |
| 単独エントリーのリーグ（現状と同じ） | 書類は連盟に提出<br>連盟は精査して返却 | 書類は携行 | 連盟の再精査を受けて日本協会に事前提出、もしくは大会に携行して日本協会の点検を受ける | 書類は携行 | |

書類は申請・承認書、登録書、チーム登録証、選手居住入りバンダリーマップ、携行書類（居住、誕生日、継続的居住を証明するもの）